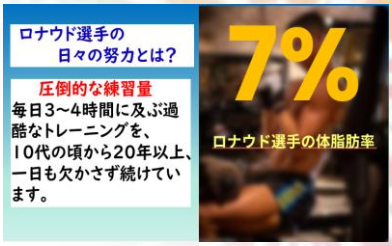
学校経営目標　SHINPO力を発揮し未来を切り拓く生徒の育成

# 夢咲き

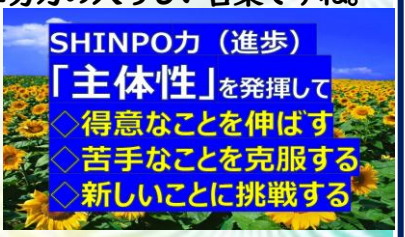
学校長通信（学校長発行）
2026年度7月号（No．5）
宮古島市立平良中学校

## 1学期終業式　「主体性」を発揮して「努力する夏休み」を！

４月９日に始まった令和８年度１学期も、終業式を迎えることとなりました。それでは、夏休みに向けてお話しをしますが、まずは、６月に開幕し世界中から注目を集めている「ワールドカップサッカー」の話題からです。世界各国から出場するスター選手の中で、ポルトガル代表のクリスティアーノ・ロナウド選手について紹介します。何と現在４１歳です。サッカー選手としては若くはありません。そのロナウド選手の経歴は、２００８年には世界最優秀選手賞も受賞し、所蔵するクラブチームでも計４回世界一になる等、輝かしいものがあります。素晴らしい経歴をもつロナウド選手ですが、決して恵まれた環境で育ったわけではありません。ポルトガルの小さな島、マデイラ島の決して裕福でない家庭で生まれ育ちました。12歳で親元を離れ、夢のために大都会「リスボン」へ旅立った時、彼を支えたのは「誰よりも練習して世界一のサッカー選手になる」という強い覚悟だけでした。そして、誰にも負けない圧倒的な練習量で、毎日3～4時間に及ぶ過酷な自主トレーニングを10代の頃から20年以上、一日も欠かさず続けてきました。その証拠に、この鍛えられた体を見てください。一般的なプロサッカー選手の平均体脂肪率は約10%～11%と言われています。ですが、ロナウド選手は、20代の頃と変わらず「体脂肪率７%」という驚異的な肉体を維持しています。



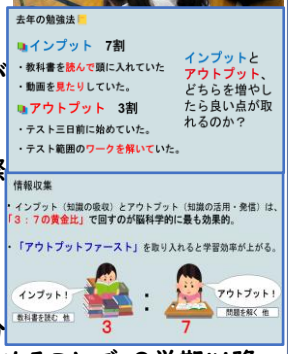

そして、そのロナウド選手は努力についてこのように語っています。「信念を持ち、努力を重ねて、チャンスを逃さない」「才能がなくても、努力があればそれを補うことができる」まさに努力の人らしい言葉ですね。そして、皆さんにも、ロナウド選手が「努力」することを大切にしてきたようにこの夏休み「努力する夏休み」をテーマにがんばってほしいと思います。その努力する夏休みに向けては、何より皆さん自身が「主体性」を発揮することが大切です。夏休みは、やはり自分で使える時間がかなりあります。怠けるのも自分次第、努力するのも自分次第、ですから主体性を発揮して自分の得意なものを伸ばすのか、苦手なものを克服するのか新しいことに挑戦するのか「主体性」を発揮して自分で決め、努力する夏休み」を過ごすようにしてください。そしてその努力が、２学期以降の皆さんのＳＨＩＮＰＯに繋がることを期待しています。




令和８年度　第１学期終業式　～校長式辞より～

## 2学年総合「SHINPO探究」報告会

7月7日　オープンスクールのこの日、2学年においては、総合的な学習の時間における「SHINPO探究」の成果報告会が行われました。「ミニトマトの中に入っている種は育てられるの？」「ボールペンでにこちゃん大量プロジェクト」等、身近な生活の中から自由に「課題」を見い出し、フィールドワークや検証実験を重ねる中で進めてきた探究の成果報告がなされました。各生徒、工夫を凝らし様々な視点で報告がなされた中で、嵩原すずさんは、「期末テストで良い結果を出すには、どんな勉強法をすれば良いのか」について、テスト前に自分で実際に検証し、問題を解く等のアウトプット主体の学習法が効果が上がることを実証し、「インプット：アウトプット＝3：7の黄金比」についても紹介してくれました。皆さんの「努力する夏休み」においても、嵩原さんの研究を参考に自分に合った学習法や黄金比で効率よく勉強を進めることで、2学期以降の成績アップにつながることと思います。この夏もSHINPOです。




## 魅力ある学校づくりに向けて

7月６日～　今年度から生徒会の「団活動」が行われています。その取組として、学期末の昼休みを利用した「団あそび」が行われました。「あそび」の企画はそれぞれの団の代議委員の皆さんが中心となって検討され「だるまさんが転んだ」や「しっぽ取り」等、短い時間でみんなが楽しめる企画が、それこそ楽しそうに進められていました。それ以外にも「ぽいはん」の取組等、学校生活をみんなで楽しく過ごすため、生徒会執行部や関係生徒の皆さんが本当に頑張ってくれた１学期でもありました。２学期も楽しみにしてます